

県北地区読書活動支援者 育成事業研修会

参加
無料

日時

7月4日(土)

13:00~15:40

(受付 12:40~13:00)



キビタン©福島県

会場

伊達ふれあいセンター 多目的室

〒960-0502 福島県伊達市箱崎川端 7
024-551-2247

子どもの読書活動について興味のある方はどなたでも参加OK!

対象

子どもの読書活動推進に向けて活動する方 (先着50名程度)

読み聞かせボランティア 図書ボランティア 学校職員 学校司書
公共図書館職員 保育所・幼稚園・認定こども園職員 保護者 等

行政説明

13:10~13:20

「第五次福島県子ども読書活動推進計画」について

震災語り部による講話

13:20~14:00

「ぼくのうまれたところ、ふくしま」からつなぐ未来へのバトン

講師: 泉田 淳 氏【元東日本大震災・原子力災害伝承館アテンダント】

講義・演習

14:10~15:30

「また聴きたい」と思われる読み聞かせへ

~子どもに届く声と場づくり~

講師: 引田 さいこ 氏【(一社)日本朗読検定協会 読み聞かせ検定員】

他地区で行われます研修会にも参加することができます。(ただし、会場の都合等により、参加者の制限をする場合があります) 福島県内7地区で、魅力的な研修会が行われています。申込等が必要となりますので、詳しくは、2次元コードまたは下記URLからご確認ください。

https://drive.google.com/file/d/1VuJzHAI54-P3U4Acbke1J9zQcl-RMiRi/view?usp=drive_link



参加申込みについては裏面をご覧ください。申込〆切 6月26日(金)

震災語り部による講話

元東日本大震災・原子力災害伝承館
アテンダント 泉田 淳 氏

あの日、福島で何が起き、人々はどう動いたのか。本講話では、震災の真実を子供の視点で描いた松本春野氏作の絵本「ぼくのうまれたところ ふくしま」の原案者である講師が、自身の被災体験を語ります。突然奪われた日常、避難生活の葛藤、そして故郷への複雑な想い。絵本には書かれていないことまで生の声で伝えることで、震災を風化させず、命を守る大切さを再確認します。震災を知らない世代や、未来を生きる全ての人に贈る、希望と再生のお話です。

講義・演習

フリーアナウンサー（元 NHK 福島放送局キャスター）
（一社）日本朗読検定協会 読み聞かせ検定員 引田 さいこ 氏

子どもたちに本の世界を届ける読み聞かせは、「どう読むか」だけでなく、安心できる場づくりも大切です。本研修会では、アナウンサーとして培った表現力と、学校現場での読み聞かせや授業実践をもとに、「声の届け方」による違いを体感しながら、子どもが夢中になる読み聞かせを、実演や演習を通して学んでいきます。さらに、「また聴きたい」へとつながる関わり方や工夫もお伝えします。あなたの声で、本の魅力がより豊かに広がる時間を、一緒に見つけてみませんか。

申込方法

- お申し込みは、先着順となります。御了承ください。
- 下記の参加申込書（様式1）により FAX、Eメール、二次元コードでお申し込みください。

申込先

〒960-8670 福島市杉妻町 2-16 福島県庁北庁舎 1階
県北教育事務所総務社会教育課 担当：橋本健
[TEL] 024-521-2814 [FAX] 024-521-2870
[E-Mail] hashimoto_takeshi_04@pref.fukushima.lg.jp



参加申込用二次元コード

【申込〆切6月26日(金)】

【様式1】 令和8年度 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

県北地区読書活動支援者育成事業研修会 参加申込書

氏名	市町村名	所属団体・役職等	連絡先	電話番号(必須)
				メールアドレス (必須)

※ 御記入いただいた個人情報、本事業に関わる目的以外で使用することはありません。